

第24期第7回（平成29年度第8回）公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成30年2月15日（木） 午後2時～4時
開催場所	中央公民館・視聴覚室
委員	（出席者）9人 （欠席者）2人
職員	尾又中央公民館長、平野中央公民館事業係長、北野南街公民館長、佐野狭山公民館長、三宅蔵敷公民館長、養田上北台公民館長、事業係五十嵐（記録）
傍聴者	0名
会議次第	1 審議事項 （1）平成30年度公民館運営審議会定例会の日程について （2）平成30年度都公連委員部会役員選出について （3）東大和市立公民館開館50周年記念事業 起草委員選出について 2 報告事項 ・各種研修報告について ・東京都公民館研究大会 ・公運審委員研修会 ・都公連委員部会運営委員会定例会（第7～9回）
配布資料	（全委員に事前配布） ・平成30年度公民館運営審議会定例会日程表（案）資料1 ・各種研修報告書 公運審委員研修会 ・各種研修報告書 都公連委員部会運営委員会定例会（第7～9回） （全委員に当日配布） ・東大和市立公民館開館50周年記念事業について（諮問）など
会議の要旨	
委員	それでは、審議事項「平成30年度公民館運営審議会定例会の日程について」尾又中央公民館長、説明をお願いします。
尾又館長	資料1の平成30年度公民館運営審議会定例会日程表について、ご覧ください。4月から来年年明け2月14日まで全8回を予定しております。 後ほど50周年記念事業の諮問について正式に諮問させていただきますが、そちらの起草を見込んでおります。議題に起草委員の中間報告というのを4月から7月まで入れていただきまして、9月には答申文の案について検討していただきます。11月には答申を正式に出していただきます。そのことの実行委員会などもご審議いただきたいと思っております。 日程につきましては、議会など今わかっている日程については、ぶつからないように入れてあります。今後の会議に日程によっては、日時が変更することもあります。 都公連大会ですが、公運審委員の皆様は研修としても出席していただくことになっております。次回の都公連大会につきましては、東大和市は事務局になります。職員だけでは運営が滞りますので、審議委員さんにも、運営として参加していただきます。スタッフ運営や準備もお願いしたいと思います。2月3日になりますので、あらかじめお願いいたします。
委員	説明が終わりました。質問や意見などございますか。 （委員からの意義なし） （懇談会について案内あり） それでは、次の審議事項「平成30年度都公連委員部会役員選出について」を議題といたします。 平成29年度は委員にお願いいたしました。平成30年度においてもまた改めて東大和市として選出します。立候補される方はいらっしゃいますか。

	委員、月1回程度は集まりがありましたか。
委員	毎月1回、月末ですね。
委員	どなたかいらっしゃいますか。 (委員からの立候補意見なし) もしなければ、推薦いかがでしょうか。
委員	今年は重要な2月3日の研究大会もあることから、昨年度の経験を活かしていただき、引き続き委員にお願いできればと思います。
委員	他の候補や推薦どなたかいらっしゃいますか。 (委員からの推薦意見なし) 本日、委員は欠席なのですが、事務局から委員に「推薦された場合、いかがですか」と聞いたところ、「もし皆様のほうで特になければ、いいです。」ということ聞いています。よろしいでしょうか。 (委員からの意義なし) それでは、ご本人不在ではありますが、皆さんのご意見ということで、委員部会の役員を来年度もお願いしたいと思います。 次の審議事項「東大和市立公民館開館50周年記念事業 起草委員選出について」を議題といたします。尾又館長、説明をお願いします。
尾又館長	本日、40周年記念誌をお持ちでしょうか。こちらの133ページに、40周年記念事業につきまして諮問ということで中央公民館からの依頼文がありまして、135ページからは答申書がついております。起草委員について、138ページにございます。 真ん中に書いてあるのは、答申していただく公運審全員の名前が書いてございます。その下に起草委員会委員として、数人の名前が書いてあります。 公運審委員全員でたたき台を作って、まとめられるのは大変難しいのではないかと、ということです。もう少し人数を絞って起草委員を立ち上げていただきまして、その起草委員さん達で素案を作っていただいて、それを公運審でご審議いただきたいと思っております。 前は起草委員として7名でしたが、人数をあらかじめ決めるわけではございません。皆さんの中で起草委員となっただけの方を自薦、他薦でいただきまして、人数についてはフレキシブルに考えていただければと思います。以上でございます。
委員	ご説明ありがとうございます。起草委員について、若干付け加えます。 40周年記念誌133ページをご覧ください。公運審会長宛に当時の中央公民館長から40周年記念事業について、諮問が出ます。それを受けて、審議会の総意で答申を作って、館長にお返しします。簡単に言うと、宿題が出てその答えをだす、こういうことが諮問と答申です。 答申書を出すまでの審議の経過について、138ページをご覧ください。こういう組織を作って審議をし、答申をしましたということが書いてあります。東大和市立公民館開館40周年記念事業検討委員会の委員というのは、そのときの公民館運営審議会委員の全員です。 さきほど、来年度の定例会日程表にて出されました、その議題等というところに、例えば4月19日「答申起草委員中間報告」、6月28日「中間報告」、7月19日「中間報告」、9月27日「答申文案検討」となっています。中間報告を3回行い、検討した結果、11月15日「答申提出」に完成品を提出します。 これまでの例は、起草委員会を作り、草案を起こしました。 「答申書をどのようにするか」というのを人数で言うと、会長と副会長を含めて5人や6人程度の人数で答申案を作ります。それを審議会定例会の中間報告し、審議会でご意見いただいたうえで、いよいよ宿題の提出ということになります。

	そこで、今日は起草委員を決めておきたいと思います。4月から6月の中で、起草委員会を必要に応じて開いていきます。皆様の中から起草委員会の委員として、この50周年の事業をどんなふうにやっていくか、是非積極的なご意見をお願いします。
委員	立候補します。答申書の作り方のイメージですが、前回の答申書を元に50周年事業でやりたいことを盛り込みつつ、文章をつくっていけばいいのかなと思っています。一緒に5名くらいで、私達が思い描くこと盛り込みながら作る場所なので、楽しいかなと思っています。皆さん祭りを経験して豊富なアイデアをお持ちだと思います。 進み具合にもよりますが、回数集まらなくてもできるかなというイメージです。是非一緒にやっていただける方がいれば、よろしくお願いします。
委員	私はお祭りについて作ったりしたことがないので、アイデアはないのですが、少しでも力になれるのであれば是非。
委員	50周年事業をどんな考えでやっていくべきか、話し合っていくと捉えればよろしいかと思います。他にはいかがでしょうか。
委員	実行委員として若干の意見は述べさせてもらうこともありますが、起草委員としてはアイデアがなかなか浮かばないので、ひとつお願いしたい。 実行委員は公運審の皆様で行いますか。
委員	いいえ、違います。起草委員の文章を検討する委員は公運審でやりますね。
委員	実行委員にも委員是非入ってもらえると。
委員	お祭りごと好きですから、意見を言わせていただけるのはありがたい。50周年事業となるとかなり大きな事業になりますね。その中の一部でもお役に立てれば。
委員	起草委員のほうはいかがですか。
委員	40周年記念誌を見ると最後の（第三回起草委員会）は4人ですね。
委員	私もすべての回、出席できなかったです。
委員	ご推薦いただいてありがたいですが、どなたもいなければ…。
委員	皆様、いかがですか。
委員	6月で任期が終了しますが、そここのところはいかがでしょう。
委員	所属団体によって、年度で審議会の委員は変わります。検討委員としては4月以降メンバーではない。実行委員としてのメンバーはOKですね。
委員	所属団体でそういったことに色々関わっていて、知識が豊富に持たれているのではないのでしょうか。
委員	私は携わっていないですね。
委員	所属団体は3月末で担当が変わるので、起草委員は立場上難しい面があるかもしれません。是非次の実行委員（の募集）は広めますので、お気持ちがあれば。
委員	実行委員は公募でしょうか。
委員	そうですね。それぞれからの推薦もあるかもしれません。委員はいかがでしょう。
委員	予定が出ていないこともありまして、申し訳ありません。
委員	もう一度確認したいです。起草委員会があつて、検討委員会があつて、そして実行委員会があるんですか。
委員	そうですね。委員いかがですか。
委員	4月からもっと大きな大役がありまして、この1年間は無理です。
委員	そうですね。委員いかがですか。
委員	整理したいのですが、今日出る諮問に対する答申が出ると。答申をするための文案を起草委員で作るということでしょうか。
委員	そうです。

委員	起草委員会と検討委員会というのは、だぶっていいわけですね。その後には実行委員会を作って、一般市民を募集するわけですね。
尾又館長	そのあたりも答申に盛り込まれてもよろしいかと思います。例年、おおむね公募かと思います。
委員	前回（の40周年記念誌）を見ると、検討委員会後にも起草委員会やるわけですね。
委員	前は検討委員会が起草委員会の後の日付になっていますが、今回は検討委員会が行われる4月より前に一度起草委員会はやらなくてはと思っています。
委員	公運審皆で答申を作るとすると、起草委員会はいらぬような気がします。
委員	10数人の会議で、「てにをは」をやっていくよりかは、ある程度人数をしばったほうがいいかと思います。
委員	この公運審でも少人数ではあるかと思いますが。
委員	これは私の体験談ですが、文面を作ることのしやすい人数というのがイメージとしてはありますが、5人くらいで読み込んだほうが作りやすさはあるかと思います。
委員	前回は前回は、起草委員はすべて公運審の委員です。そうすると、公運審の検討委員会だけでもいいかと思います。
委員	今までは、皆ここで作りあって、最終的に起草委員会で清書を作ったのでしょうか。
委員	当時の起草委員会は、前回の参考にはしますが、答申書をゼロから作りあげるスタートになります。項目をどうするか、具体的な文面をどうするかという話し合いを設けました。 公運審の記録を使いながら検討委員会の意見について、こういうふうに変えて、次の検討委員会にはかる。整理をする機関が必要でした。
委員	検討委員会と起草委員会の同じメンバーであれば、検討委員会だけでやるのが効率的だと思います。公運審の時間だけで足りないのであれば、時間を延長するなどしてやってもいいのではないのでしょうか。
委員	どんな組織でやっていくか、起草委員会がいるかいないかも含めて、皆さんの意見で審議していきましょう。 今期の皆さんで作っていき答申書です。起草委員会を作らず、検討委員会のみで作っていく方式と、数名の起草委員を作ったうえで検討委員会で審議する方式、皆様のご意見いかがでしょうか。
委員	公運審全員でやる場合は、新たにまた日程を組むのでしょうか。
委員	新たに日程を組むのではないのでしょうか。
委員	審議会で検討しますが、検討したものを誰かがまとめないといけないわけですね。そのためにまとめる機関として、起草委員会があるかと思います。 たたき台とは、何のたたき台を作るということですか。
委員	事務局と委員とは、一旦4月の検討委員会の前に50周年用を作ってみようかと話し合っていました。それは、40周年の紙の答申書をパソコンで修正できるよう、打ち込もうという話をしていました。
委員	検討委員会のたたき台の資料を作るということですね。
委員	起草委員になった人がそれをやっておくと、皆さんに意見を聞いてもらうことが容易だろうということです。審議会に意見を言ってもらったら、それをまとめていく、それが起草委員会です。
委員	検討委員会だけだと大人数で、お忙しい委員もいるわけですね。検討委員会の意見を起草委員会にて文書でまとめてもらったほうがベターだと思います。

委員	検討委員会の中に書記などは前回決めましたか。
委員	公運審の定例会でしたから、特には。
委員	職員が担われていたということでしょうか。
尾又館長	検討委員会ของときに、話し合われていることは事務局で記録します。起草委員会は時間外ですので、起草委員のメンバーの中で作られているかと思ひます。
委員	審議会で検討しますので、公に記録されます。 他の皆さん、ご意見いかがですか。
委員	50周年事業として、また新たに全員でまとめることは大変かと思ひます。起草委員について、検討委員の有志が枠外の時間に集まって行くことがよいかと思ひます。
委員	有志を選ぶという形が意見も多いですし、いいじゃないですか。
委員	起草委員として、お気持ちがある方は委員以外いらっしゃるでしょうか。
委員	やる人がいないなら、やってもよいです。
委員	人数はごく限られた、4、5人くらいで十分じゃないかと思ひます。
委員	委員、いかがでしょうか。
委員	わかりました。
委員	ありがとうございます。それでは、5人ですね。よろしくお願ひいたします。 3月中に一度起草委員会を行いたいと思ひます。後ほど5人で、日程を決めたいと思ひます。
尾又館長	(中央公民館長から東大和市立公民館運営審議会会長へ「東大和市立公民館開館50周年記念事業について」諮問通知書を受け渡し)
委員	以上で審議を終了します。